

## 2020年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月14日

上場会社名 サイタホールディングス株式会社  
 コード番号 1999 URL <https://saita-hd.co.jp>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 才田 善之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平山 繁之

TEL 0946 22 3875

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	1,637	29.8	222	47.7	249	41.8	161	45.2
2019年6月期第1四半期	1,261	1.1	150	83.1	175	114.9	111	177.1

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 157百万円 (39.9%) 2019年6月期第1四半期 112百万円 (204.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	256.35	
2019年6月期第1四半期	176.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第1四半期	6,999	3,012	43.0	4,777.60
2019年6月期	7,212	2,886	40.0	4,578.24

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 3,012百万円 2019年6月期 2,886百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		50.00	50.00
2020年6月期					
2020年6月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	18.2	280	66.4	300	66.8	170	68.3	269.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期1Q	661,000 株	2019年6月期	661,000 株
期末自己株式数	2020年6月期1Q	30,548 株	2019年6月期	30,548 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期1Q	630,452 株	2019年6月期1Q	630,494 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. 四半期建設事業受注の概況 .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境の改善等、全体的に緩やかな回復基調が続いておりますものの、米中貿易摩擦の長期化や東アジアでの地政学的リスクの高まり等、依然として先行きに留意が必要な状況であります。

当社グループの主力事業であります建設業界は、公共投資、民間設備投資は堅調に推移しているものの、資材価格や労務費の高止まりによる工事収益率の低下や建設技術者不足は依然として続いており、決して楽観視できない経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは総力を挙げて受注活動を行うとともに、碎石製品等の販路拡張にまい進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は16億3千7百万円（前年同四半期比29.8%増）となり、営業利益2億2千2百万円（前年同四半期比47.7%増）、経常利益2億4千9百万円（前年同四半期比41.8%増）となり、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億6千1百万円（前年同四半期比45.2%増）となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として完成工事高が下半期、特に第3四半期に偏ることから、通期の業績予想に対し第2四半期までの売上高の割合が低くなるといった季節的変動があります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(建設事業部門)

当第1四半期連結累計期間の受注高は9億4千7百万円（前年同四半期比28.1%減）、完成工事高は8億7千3百万円（前年同四半期比53.5%増）、営業利益は1億2千3百万円（前年同四半期比53.5%増）となりました。

(碎石事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は6億2千7百万円（前年同四半期比20.0%増）、営業利益は1億5千1百万円（前年同四半期比29.5%増）となりました。

(酒類事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は4千1百万円（前年同四半期比35.2%減）、営業損失は1千3百万円（前年同四半期は営業損失1千2百万円）となりました。

(その他の事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は9千5百万円（前年同四半期比9.5%減）、営業利益は9百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は41億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3千6百万円減少いたしました。これは主に現金預金が1億4千1百万円、受取手形・完成工事未収入金等が1億5千1百万円減少いたしました。未成工事支出金等が3千6百万円増加したことによるものであります。固定資産は28億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千3百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が6千5百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、69億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1千3百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は32億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ3億9千6百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が1億9千8百万円、支払手形・工事未払金等が1億1千2百万円減少いたしました。短期借入金が2千5百万円増加したことによるものであります。固定負債は7億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ5千7百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が5千8百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、39億8千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3千9百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は30億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千5百万円増加いたしました。これは主に配当金3千1百万円の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益1億6千1百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は43.0%（前連結会計年度末は40.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期決算発表時（2019年8月19日）に公表した通期の業績予想については現時点での変更はありません

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	2,306,598	2,165,238
受取手形・完成工事未収入金等	1,878,721	1,727,304
未成工事支出金等	184,636	221,251
その他	24,731	43,939
貸倒引当金	△2,760	△2,800
流動資産合計	4,391,926	4,154,932
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物(純額)	295,367	290,113
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	717,836	791,194
土地	790,994	790,994
リース資産(純額)	7,582	6,176
その他(純額)	20,259	19,429
有形固定資産合計	1,832,039	1,897,908
<b>無形固定資産</b>		
採石権	12,666	12,666
その他	2,663	2,663
無形固定資産合計	15,329	15,329
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	266,544	271,649
保険積立金	214,295	217,024
繰延税金資産	87,691	37,858
その他	464,789	464,457
貸倒引当金	△60,150	△60,141
投資その他の資産合計	973,170	930,848
固定資産合計	2,820,540	2,844,086
資産合計	7,212,466	6,999,018

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	978,166	865,848
短期借入金	1,662,242	1,687,559
リース債務	5,897	5,617
未払費用	179,048	67,561
未払法人税等	232,953	34,124
未成工事受入金	346,192	295,430
工事損失引当金	23,000	20,200
賞与引当金	7,923	31,692
その他	241,196	272,071
流動負債合計	3,676,620	3,280,103
固定負債		
長期借入金	445,276	503,318
リース債務	2,574	1,289
繰延税金負債	17,786	5,391
退職給付に係る負債	141,938	154,101
役員退職慰労引当金	38,074	38,932
その他	3,835	3,835
固定負債合計	649,484	706,867
負債合計	4,326,104	3,986,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	942,950	942,950
資本剰余金	594,558	594,558
利益剰余金	1,412,516	1,542,604
自己株式	△35,833	△35,833
株主資本合計	2,914,191	3,044,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,164	△10,345
為替換算調整勘定	△15,665	△21,886
その他の包括利益累計額合計	△27,829	△32,232
純資産合計	2,886,361	3,012,047
負債純資産合計	7,212,466	6,999,018

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	568,965	873,245
兼業事業売上高	692,572	764,634
売上高合計	1,261,537	1,637,880
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	419,610	675,550
兼業事業売上原価	482,357	527,952
売上原価合計	901,968	1,203,503
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	149,354	197,695
兼業事業総利益	210,215	236,681
売上総利益合計	359,569	434,377
販売費及び一般管理費	208,882	211,871
営業利益	150,687	222,505
<b>営業外収益</b>		
受取利息	145	161
受取配当金	51	62
固定資産賃貸料	12,114	12,224
為替差益	7,615	6,356
持分法による投資利益	10,094	12,401
その他	3,865	3,323
営業外収益合計	33,887	34,529
<b>営業外費用</b>		
支払利息	5,575	4,636
その他	3,107	2,971
営業外費用合計	8,683	7,607
経常利益	175,891	249,427
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	314	2,705
特別利益合計	314	2,705
<b>特別損失</b>		
減損損失	563	973
特別損失合計	563	973
税金等調整前四半期純利益	175,642	251,159
法人税、住民税及び事業税	33,896	52,321
法人税等調整額	30,476	37,224
法人税等合計	64,373	89,546
四半期純利益	111,269	161,613
親会社株主に帰属する四半期純利益	111,269	161,613

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	111,269	161,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,904	1,110
為替換算調整勘定	△5,840	△6,221
持分法適用会社に対する持分相当額	—	708
その他の包括利益合計	1,064	△4,402
四半期包括利益	112,333	157,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,333	157,210
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 2018年9月14日)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 2018年9月14日)(以下「実務対応報告第18号等」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、在外子会社等において国際財務報告基準第9号「金融商品」を適用し、資本性金融商品の公正価値の事後的な変動をその他の包括利益に表示する選択をしている場合に、連結決算手続上、当該資本性金融商品の売却損益相当額及び減損損失相当額を当期の損益として修正することとしました。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年7月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	568,965	523,229	63,833	1,156,028	105,509	1,261,537	-	1,261,537
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,450	57,211	255	68,916	6,274	75,190	△75,190	-
計	580,415	580,440	64,088	1,224,944	111,783	1,336,727	△75,190	1,261,537
セグメント利益又は 損失(△)	80,513	117,237	△12,303	185,447	10,582	196,029	△45,342	150,687

(注) (1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額45,342千円には、セグメント間取引消去472千円、各報告セグメントに配分していない全社費用45,814千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「酒類事業」セグメントにおいて、長期前払費用の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては244千円であります。

「その他」セグメントにおいて、工具器具備品の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては319千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年7月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	873,245	627,866	41,334	1,542,447	95,433	1,637,880	-	1,637,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	600	41,336	327	42,264	13,022	55,286	△55,286	-
計	873,845	669,203	41,662	1,584,711	108,455	1,693,167	△55,286	1,637,880
セグメント利益又は 損失(△)	123,566	151,806	△13,055	262,317	9,680	271,998	△49,492	222,505

(注) (1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額49,492千円には、セグメント間取引消去472千円、各報告セグメントに配分していない全社費用49,964千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「酒類事業」セグメントにおいて、機械、運搬具及び工具器具備品の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては973千円であります。

3. 四半期建設事業受注の概況

(株式会社才田組受注高)

	受 注 高	
	千円	%
2020年6月期第1四半期累計期間	883,064	△31.5
2019年6月期第1四半期累計期間	1,289,856	56.0

- (注) 1. 受注高は、当該四半期までの累計額であります。  
 2. パーセント表示は、前同四半期比増減率であります。

受注実績内訳

			2020年6月期 第1四半期累計期間		2019年6月期 第1四半期累計期間		比較増減	増減率
			千円	%	千円	%	千円	%
建設事業	土 木	官公庁	696,305	78.9	828,470	64.2	△132,165	△16.0
		民 間	113,437	12.8	151,476	11.7	△38,038	△25.1
		計	809,743	91.7	979,947	76.0	△170,204	△17.4
	建 設	官公庁	3,663	0.4	230,950	17.9	△227,287	△98.4
		民 間	69,658	7.9	78,959	6.1	△9,301	△11.8
		計	73,321	8.3	309,909	24.0	△236,588	△76.3
	合 計	官公庁	699,968	79.3	1,059,420	82.1	△359,452	△33.9
		民 間	183,095	20.7	230,435	17.9	△47,340	△20.5
		計	883,064	100.0	1,289,856	100.0	△406,792	△31.5

- (注) パーセント表示は、構成比率であります。